# 美しい「山古志」を再生する自然素材を活用した復興住宅の開発

住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司

### はじめに

2004年10月23日夕方発生した中越地震は各地に大きな被害をもたらした。その中でも特に中山間地域においては住宅や、道路をはじめとするライフラインが壊滅的な被害を受けた。建築研究所では平成17年度に国土交通省北陸地方整備局、並びに長岡市の要請を受け、被災後の住民の経済状況を考慮しながらも、地域の住文化に根ざした低廉な復興住宅の開発を、旧山古志村地域をモデル地区として、長岡市が設置した「長岡市中山間地型復興住宅検討委員会」及び地元住民や地元建設業者と共に行った。

## 復興住宅の目指すもの

旧山古志村地域は、棚田と板張りの民家が織りなす美しい 景観を持った風光明媚な地域である。また一方で中山間地域 では人口減少、高齢化が進展しており、これらの魅力ある景 観の保全は、当地域の今後の存続に必要不可欠な要素である。

ところで昨今山古志地域においても、豪雪への対処、冬の 寒さ対策から、基礎部分を高床式として積雪時でも土台が腐 らないようにし、その上に外壁に新建材を使用した住宅が建 設されるケースが増えてきている。このような住宅の多くは 残念ながら景観への配慮がなされていない場合が多い。

一般に昔ながらの民家は、そのほとんどが地場産材をはじめとする自然素材でできており、気密性、断熱性、耐久性に



棚田の美しい山古志の風景

劣ると考えられている。しかし一方で自然素材を活用した住宅や通風に優れた伝統的なプランを持つ住宅は人に優しく、地球に優しい素材として見直されている。さらに地場産材や地元建設産業の活用など、地域密着型による経済の活性化が期待されている。

そこで、これまでに蓄積されてきた研究成果を下に、山古 志の景観にマッチした自然素材を活用しながらも断熱、耐震 性能等に優れ、雪下ろしへの配慮や、地元の大工による施工、 維持、管理を考えた復興住宅の開発を目指した。

## 山古志にふさわしい住まいづくり5つの基本方針

目指すべき山古志にふさわしい住宅を実現するために、5 つの基本方針を掲げ、復興住宅の開発を行った。

- 1. 山古志らしい住まい
- ●山古志の美しい風景になじむ住まい
  - ・ 山古志らしいデザインの継承 (シンプルな屋根と深い 軒・外壁の板張り・妻面の木組み等)
  - ・風景になじむ落ち着いた色
  - ・敷地内の池、樹木、畑の維持
- 山古志の気候風土に対応した住まい
  - ・ 寒く長い冬: 明るく過ごせる暖かい住まい
  - ・ 蒸し暑い夏: 涼しく過ごせる風通しのよい住まい。



住宅の被災状況

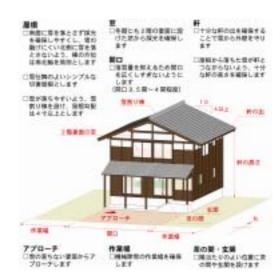
- ・山古志の暮らしに対応した住まい
  - ・暮らしに応じた2種類の床高さ(低床・高床)
  - ・ 近所づきあいや生業を大切にした住まい
  - ・家族のふれあいを大切にした住まい
  - ・ 冠婚葬祭・年中行事に対応した住まい
- 2. 雪と上手につきあう住まい
  - ●屋根雪下ろしの要らない住まい
    - · 基本仕様:自然落雪屋根
  - •雪と上手につきあう住まいの知恵
    - ・屋根雪が落雪しやすい工夫
    - ・1階の採光、建物の耐久性を確保する工夫
  - ●雪処理に配慮した住まいの配置
    - ・ 雪処理に配慮した建物配置と機械除雪が可能な宅地計画
    - ・ 敷地条件の有効活用 (崖地の利用・融雪池の利用)
- 3. 地域循環型の住まい
- ●県産材、自然素材を最大限活用した住まい
  - ・地場産業の活性化と環境負荷の低減
- •地元の大工技術を活用した住まい
  - ・地場産業の活性化と大工技術の継承
- 4. 住まい手のコスト負担を軽減する住まい
  - ●成長する住まい
    - ・ 最初は必要最小限の規模と仕上げでつくる [空木建]
    - ・仕上げの充実や増築で成長する住まい
  - コストダウンの工夫
    - ・構法、材料・設備の共通化
    - ・材料・設備の共同購入、共同建設
  - 地域の住宅生産者・建材メーカー・行政による建設支援
- 5. 安全で快適に長く住み続けられる住まい
  - ◆十分な断熱性・気密性による快適で省エネの住まい
  - ●地震・台風・積雪に強い住まい
- 長持ちし、維持管理しやすい住まい
- 誰にも優しいバリアフリーの住まい

### 復興へ

この結果は2005年10月22日に長岡造形大学で開催された中越地震1周年記念シンポジウムで、住民をはじめとする多くの関係者の方々に公表された。一方で「集落再生計画策定調査部会」が設置され、2005年11月より旧山古志村地区にある大きな被害を被った6地区において、この復興住宅によ

る集落再生計画が現在作成途上にある。

本格的な復興はまだ始まったばかりであるが、最後に現代 生活に適応しながら山古志の風景をよりよくする復興住宅の 建設による生活再建、集落再生を記念するものである。



雪処理アイデア集



夏の生活



冬の生活



集落再生へ